

これは、創造主が、光る物(星が含まれていることが重要)が'あれ'と仰せられると、すぐに地球上で見えるようになったことを示唆する表現です。'そのようになった'という表現は、何十億年もかけて光が地球に届いたのではなく、むしろすぐに届いたことを暗示しています。



詩篇33：9にも同様のことがはっきり述べられています。

まことに、主が仰せられると、そのようになり、
主が命じられると、それは堅く立つ。(詩篇33：9)

創造主が仰せられるとすぐに'そのようになった'。主が命じられると、'すぐに立つ'のです。そして地球を中心とする枠組みの中で、被造物すべてが見えるようにされたのです。創造主は、私たちが'今だ'という時のように、瞬間で被造物すべてを創造されました。イザヤ48:7にこう書かれています。

それは今、創造された。ずっと前からではない。
きょうまで、あなたはこれを聞いたこともない。
「ああ、私は知っていた」とあなたが言わないためだ。(イザヤ48:7)

神(創造主)が創造された時、それはずっと昔ではなく、'今'と仰せられたのです。最後に、2ペテロ3:7を読むと、

しかし、今の天と地は、同じみことばによって、
火に焼かれるためにとっておかれ、
不敬虔な者どものさばきと滅びの日まで、保たれているのです。

この箇所(私たちが'今'見ている天を含めて)言っています。遠い星々からの光が時間をかけてやって来る何百万年、何億年も前の天のことではありません。すなわち、星空は過去に遡って見えているのではないということでしょう。繰り返して言いますが、この考え方はアインシュタインの物理学(相対性理論)に完全に適合します。そしてまた、二、三百年前の星空の観測者たち皆が持っていた見解でもありました。

参考文献：The Physics of Einstein (by Jason Lisle)

著者について

ジョン・ハートネット博士はオーストラリアの物理学者/宇宙論科学者で聖書の創造論の世界観を持つクリスチャンです。ウエスタンオーストラリア大学から理学士(優等)と理学博士号(特待)を授与されました。現在、オーストラリアの指導的大学においてオーストラリア学術研究会 (ARC) の DORA(Discovery Outstanding Researcher Award) フェローであり教授です。200以上の論文を科学誌や書籍に掲載、また学会で発表してきました。博士の研究はサファイヤ結晶の共振を用いた超高精度マイクロ波発振器と光共振器の開発、そして超高精度発振器を用いた特殊、一般相対性理論など物理理論の基本検証法などです。



ジョン・ハートネット

公式サイト johnhartnett.org

書籍のご案内



ジョン・ハートネット博士の著書 「光年の謎と新宇宙論」

(このトラクトとは別の、宇宙膨張の場合の理論)

『若い宇宙でなぜ何億年も彼方の星の光が見えているのか? 今日、'数千年前、創造主が六日間で世界を創造した'という考えは非科学的以外の何物でもないと言われている。しかし、それは、他よりはるかに良く観測事実を説明するではないか。』

アレックス・ウィリアムズ
前国連国際原子力機関コンサルタント

ジョン・ハートネット著 104頁/1,000円(税別)

詳細はこちら▶ [ゴフェルトゥリー・プロダクション http://gophertree.jp](http://gophertree.jp)



ゴフェルトゥリー・プロダクション
<http://gophertree.jp>

光年の謎を解く もう一つの答え

UNRAVELING
THE MYSTERY
OF LIGHT-YEAR

宇宙の年齢は想像以上に若かった!
なのになぜ何億光年かあなたの星が見えるのか?

近年の研究から、宇宙の年齢は何億年という単位のものではなく、むしろ驚くほど短い可能性があることがわかりました。しかし、もしそうなら、光のスピードですら何億年もかかるほど離れた星の光がどうして地球に届いているのかが大きな謎でした。

ハートネット博士は先年この謎を解き明かすために、『創造の週に起こった宇宙空間の膨張』という仮定に基づく理論を発表し、大きな反響を呼びました。

また、研究を続ける中で、博士はこの謎を説明するもうひとつの理論を提案したのです!※1 それはアインシュタインの物理学にも適合しています。

※1 ハートネット博士のこの新しい提案は、ジェイソン・ライル博士のアインシュタイン相対性理論に関する検討から拡張して、宇宙を支配する絶対的な時間ではなく、時間とは観測者を基準に規定されることから考察したものです。なお、聖書の創造論とは、聖書を基に考察されていても、絶対的なものではありません。その意味からいくつもの理論が可能ですが、しかし、聖書のみことばは唯一で、変わることがありません。